

❁若草中学校区



生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路選択ができる子どもの育成
 ・よく学び、豊かに表現できる子ども ・思いやりがあり命を大切にできる子ども ・あいさつができる子ども

▶若草中学校区 地域教育協議会


<p>地域・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年々、校区内の園児、児童、生徒数が減少しているのが現状である。地域、保護者の方々は校園への協力を惜しまず、よく声かけをして頂いている。本校区の校園では連携を大切にしながら教育活動を進めており、「学校園と地域や保護者がつながる」「指導者がつながる」ことを大切に、幼・小・中を通じ、11年間の子育てに1つの道筋ができればという思いで活動を進めている。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の命を大切に、自尊感情や社会的な規範意識の向上を目指し、あいさつ等基本的な生活習慣を身につけさせたい。 ・夢や希望の実現に向け、粘り強く努力する力を身につけさせたい。 ・地域との連携、協働する中で、地域に誇りを持ち、地域の良さを発信できる力をつけさせたい。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会やフィールドワークによる「奈良を知る 地域を知る」学習を進め、ホームページや校区交流ルームを整備し、広報活動を活性化をさせる。 ・地域コーディネーター会議を充実させ、各校園の取組のアピールや見学会を推進し、繋がりを更に深めていく。 ・地域や保護者の方々に気軽に参加できる地域合同文化講演会では「松永久秀と多聞城」「正倉院と若草中学校」「華厳～ひとりひとりが華であるという考え方～」と題して3年のサイクルを維持し、29年以降も開催を継続していく。





▶若草中学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>「行事に燃える若中生」と言われるくらい、文化祭や体育大会などの行事では仲間とともに熱心に取り組み、素晴らしい成果を上げている。しかし、全学年において低学力の生徒が多く、自ら学ぶ姿勢に乏しい。授業中、落ち着けない生徒や家庭学習習慣が定着していない生徒も多い。これらの生徒に生きて働く真の学習を身につけるため、教科学習に力を注ぎ、体験学習に重点をおいた学習を進めている。また、研究授業を通じ、授業や指導法の改善を図り、工夫している。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣や学習規律を定着させ、学力の向上に向け、積極的に学習に取り組む力。 ・夢や希望、目標を持って生活し、実現に向けて粘り強く取り組む力。 ・自尊感情や社会的な規範意識を高めるために、基本的生活習慣を確立する力
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎、基本の繰り返しや基本的な学習習慣の確立を通して、生徒が生き生きと活躍する場を設定する。 ・将来を見据えた進路選択に役立つ取組の充実を図る。 ・授業で身につけた学びの力を学校行事や発表会、生徒会活動等で発揮できる場を設定する。 ・命、人権を大切にする日々の取組の充実を図る。 ・心和む学習環境を整備する。



▶鼓阪小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>昔から地域との結びつきは大変強いが、それでも児童数が年々減少し、学校と地域や地域住民同士のつながりが希薄となりがちな現状である。子ども自身も室内遊び（携帯電話、携帯ゲーム機）が多くなり、校区内にたくさんのすてきがあるにも関わらず、知らずに過ごしている場合が多い。学校が「ひと」「もの」「こと」との出会いを演出することで、地域の教育力の核となり、互いの結びつきを深めあえるようにする手だてを講じることが必要な現状である。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とつながりを大切にする。 ・地域との関わりから自ら課題を見つけ、解決し、みんなに発信する。 ・自他の命を大切にする。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域すてきに出会う（フィールドワーク、聞き取り、菜の花プロジェクト、ニッポンバラタナゴ保全活動） ・環境整美（図書館の整備、花いっぱいプロジェクト、クリーンアップつざか、ふれあいそうじ） 

▶佐保小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>長年にわたり「佐保に生きる」をテーマとして、学年に応じて生活科、総合的な学習の時間を中心に学習活動を進めている。地域・福祉・環境・自己を見つけるをねらいとして、自分たちの住む町佐保のよさを知り佐保に誇りをもつ児童を育てようと長年にわたって取組を進めている。また、地域に向けての発信として、マーチング活動では多くの方の賞賛を頂き、ビオトープでも地域の方々の支援や関わりも多くなってきている。このような取り組みを通して、日常のあいさつをはじめ、相手意識を持っての行動や表現が高まってきている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを大切にし、自分の考えや思いを豊かに表現できる力。 ・相手の気持ちを思いやり、いじめや差別を許さない実践力。 ・挨拶から、地域の人々・歴史・自然のありがたさに気付いていける力。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりの活動の中から、校区の町の様子や人々を知り、地域の人々とともに歩いていこうとする子どもを育てる。 ・自然観察や環境整備（栽培・飼育）を進める中で自然の大切さやいのちの尊さを学び、地域と共に生きる豊かな心をもつ子どもを育てる。 

▶鼓阪北小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>○「菜の花プロジェクト」を中心とした様々な取組は、これまで継続発展的に進めてきたため、児童や保護者・地域の方に浸透してきている。しかし、児童にとっては、さらに多様な体験活動が必要であり、ボランティアによる多方面からの支援・援助がより一層必要となってくる。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>○本校では、生活科や総合的な学習の時間を中心とした多様な体験を通して多くの方々との出会いの場を設定しながら、世界遺産学習や環境教育に繋げた取組を行っている。これらの学習から、地域に誇りを持ち、地域に育つ喜びを感じ取らせたい。また、人との関わり方や物の見方・考え方に広がりを持たせ、自らの考えを伝えられる児童の育成を目指している。</p>
<p>取組内容</p>	<p>○中学校区のテーマである「世界遺産と環境」と関わりの深い取組である「菜の花プロジェクト」を本校のESDの柱とし、世界遺産学習、環境教育、福祉交流学習等の「総合なら」と関連させながら一体的な推進を図る。○様々な体験を通して、地域の方々との協働や共生を学ぶ。</p> 

▶佐保幼稚園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>幼稚園は、地域の方々から絶大な協力と教育力をいただいている。その恵まれた環境の中で子どもたちは多様な豊かな体験の機会を上げ、豊かな心を育てている。各家族化や少子化の現状の中、園児数が著しく減少し職員数も少なく、様々な体験活動をするための安全や人材等を考えると園独自での実施は困難である。今後一層、地域力を頼ることが多くなることが予想される。また、園区が佐保、佐保川小学校に分かれるため、保護者の意識の連携・協働を更に進める必要がある。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 願いを出し合い、仲間と共に遊びを創り出す力 ・ よく考えて工夫し最後までやり遂げる力 ・ 夢をもちのびのびと表現する力 ・ 健康でたくましく生きる力
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の教育力を活かし、剣道・柔道・茶道・華道等「さほっ子クラブ」を年間を通して実施し、日本の伝統文化と地域の良さを知る。 ・ 未就園児保育「子育て広場さほ」・異年齢保育との交流で学校との滑らかなつながりを年間計画をたて、取り組んでいく。 ・ 年間を通して、体力づくりに取り組むと共に、季節に応じた地域の自然や文化財に触れ親しむ。

